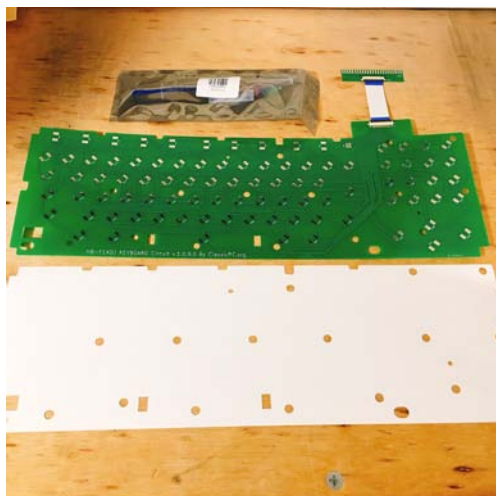


お取扱説明書

◆使用上のご注意◆

この頒布品は SONY 社製 MSX2+ HB-XDJ 用のキーボードリペアキットです。修理中に起きた事故・怪我・故障・不具合については責任を負いかねますので、くれぐれも安全に配慮し修理を行ってください。万が一、お怪我などをされた場合にはかかりつけの医師にご相談ください。

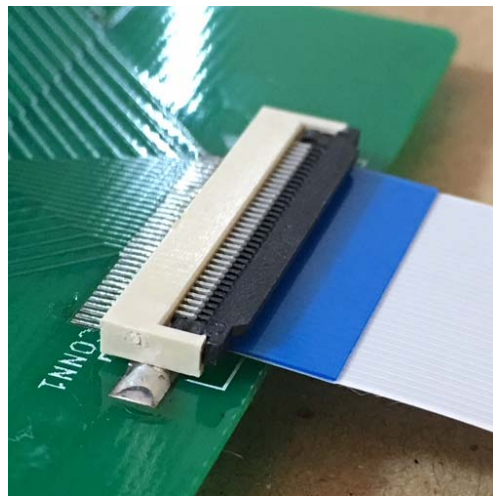
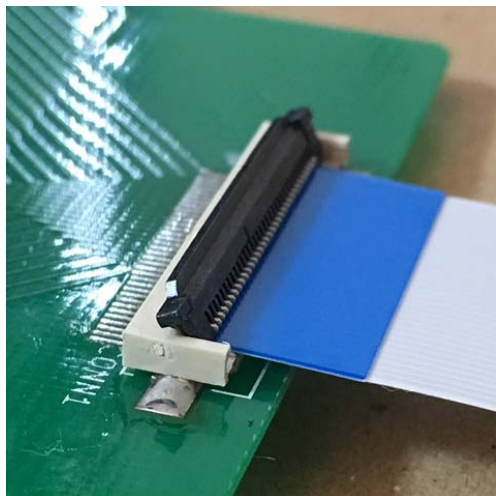


◆同梱品をご確認ください◆

キーボードマトリックス基板（基板大）1枚
コネクタ用基板（基板小）1枚
基板用フレキシブルケーブル 1本
絶縁シート（紙シート）1枚
黒ゴム修理用導電性インク 1本

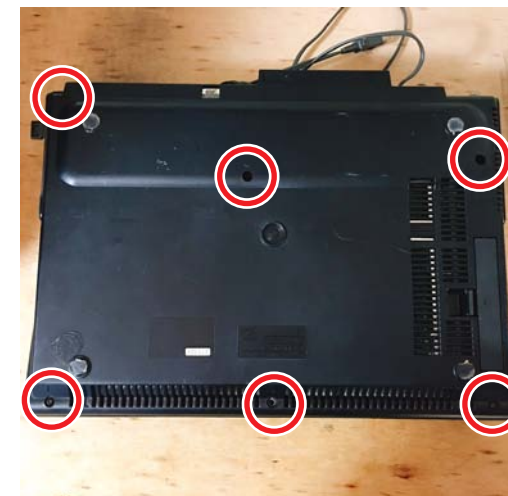
①基板用コネクタを接続

本体に同梱されている、キーボードマトリックス基板（基板大）とコネクタ用基板（基板小）をフレキシブルケーブルで接続します。まず左下図のように、コネクタの黒い留め具を上まで全開にしてケーブルを差しこみます。半開ではケーブルがささらないので必ず全開にしてください。コネクタの青い面を上にし、数ミリ程度ささった感覚がしたら、右図のように黒い留め具をしっかりと下ろします。



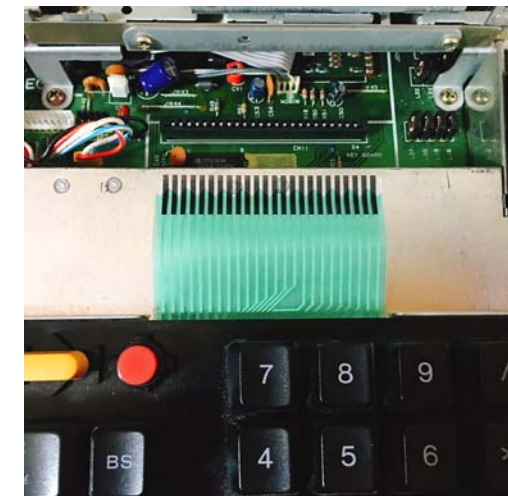
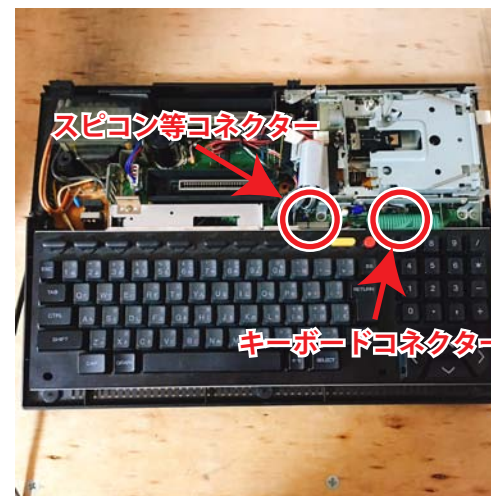
②本体を開けます

本体を裏にすると、裏面から表カバーを留めているネジが下右図の6か所にありますので、プラスドライバーで外します。ネジを外した後、本体を表に戻して、表カバーを持ち上げるようにしてゆっくりとはずします。カバーから、スピコン用、連射用、LED用、の3配線がパソコン本体基板へ接続されていますので、カバーを少しだけ持ち上げた状態で、配線コネクタを真上へ引っ張り、取り外してください。



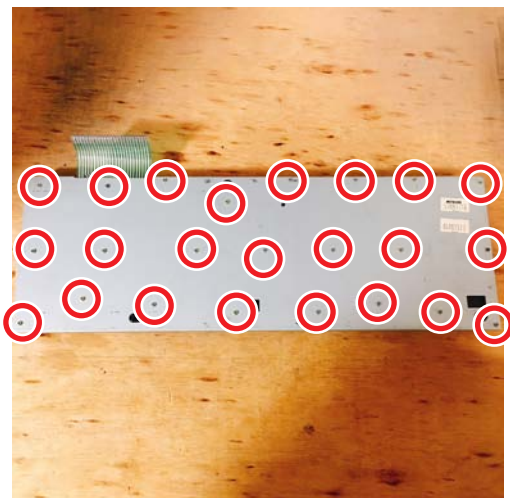
③キーボードを取り出します

本体カバーを開くと手前にキーボードがあらわれます（左下写真）。キーボードは固定されておりませんので、キーボードを少しだけ下へズラし、キーボードコネクタ部を両手でつまんでソケットから引っ張って抜いてください（右下写真）。コネクタ部と本体ソケット部を破損させないようにくれぐれもご注意ください。



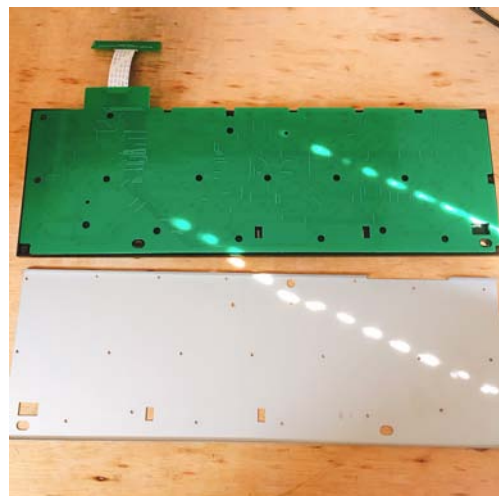
④キーボードを取り出して開けます

キーボードを本体より取り外してください。キーボードを裏にすると裏カバーが小さいネジで留まっているので、すべて外してください（左下図）。ネジは無くさないようご注意ください。ネジを外した後、裏カバーを持ち上げると外すことができます。



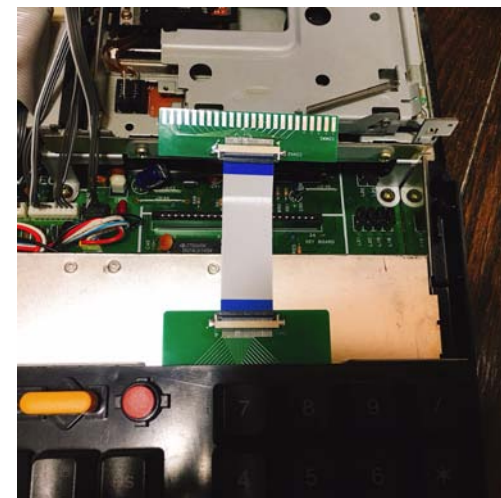
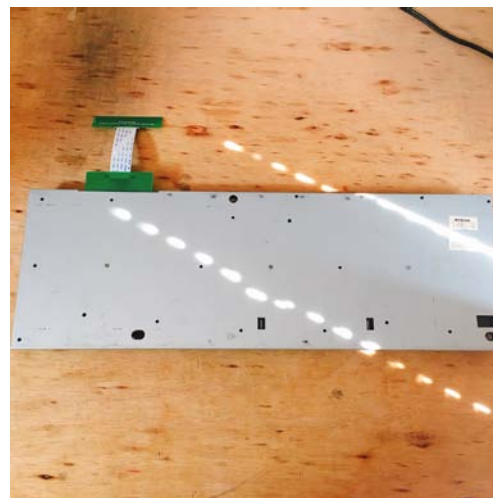
⑤マトリックス基板へ取り替えます

キーボードよりマトリックスシートを取り去ってください。取り去ったあと、マトリックス基板をネジ穴に合わせるようにしながらセットします（左下図）。その上より絶縁用の紙シートを、方向に気を付けながらセットしてください（右下図）。

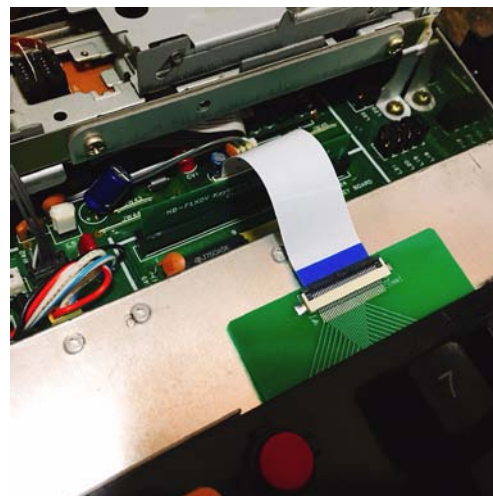


⑥キーボードの裏カバーを閉じて本体へセットします

ネジ位置が紙シートで隠れないように位置を調整しながら、カバーをかぶせてネジでとめます（左下図）。ネジで留めたあと、キーボードをパソコン本体へ装着します。キーボードを本来の位置より、やや下に置いてからコネクタを両手で持って挿入すると装着しやすいです。



左下図のように接続コネクタを本体側ソケットへ接続します。接続が終わったらキーボードを元の位置にセットし、スピコン用、連射用、LED用のコネクタを元に戻してカバーをかぶせます。次に行うキーボードテストでは、黒ゴムの導通の有無を調べますのでパソコン本体カバーのネジはしめないでください。また、カバーをしめずスピコンのコネクタが基板にささっていない状態でテストを行うと、スピコンが全開状態で超スローになり、「故障（や）っちまたか？」と、テンパりますのでご注意ください。



⑦キーボードテスト

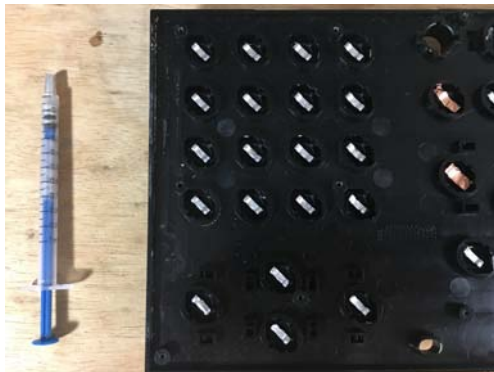
HB-XDJ を起動してキーボードテストを行います。もし入力できないキーがあれば、キーボードの裏ゴムの表面に導通がなくなっている証拠です。再度キーボードを開け、入力できないキーの裏ゴムに、付属の導電性接着剤を細い綿棒で塗り1時間ほど置いて乾かしてください。うまく動作したら、パソコン本体裏のネジをしめてキーボードリペア完了です。

●導電性接着剤を塗る際のご注意点●

①力いっぱい接着剤を押し出さないでください。接着剤がすべて吹き飛んでしまう恐れがあります。

②シリンダーの先に針を付けない状態で接着剤を押し出さないでください。接着剤がすべて吹き飛んで、部屋を思い切り汚してしまう恐れがあります。

③注射器から押し出した接着剤は、ゴムの接点部分にそって「薄く」かつ「薄くなり過ぎず」に塗ってください（右写真参考）。



●接着剤の効果がない場合●

接着剤が固まらず、剥がれていたり、ダメになっている可能性がありますので、再度塗りなおしてください。

どうしてもキーが入力できない効かない場合には、黒ゴムの裏にアルミホイルを両面テープで貼っておためしてください。